

藤 支 発 8 1 7 号  
令 和 元 年 7 月 2 2 日

保護者 様

大阪府立藤井寺支援学校  
校 長 綿 谷 輝 昭

## 令和元年度 第1回学校運営協議会について（報告）

令和元年7月12日（木）に開催致しました学校運営協議会の要旨を報告致します。

会 長：北川 末幾子（大阪府立大学 非常勤講師）

副会長：中島 智子（大阪大谷大学 特任教授）

委 員：北村 敦士（藤井寺市立藤井寺小学校 校長）

竹澤 住江（卒業生保護者 しゅらの郷福社会理事 支援センターしゅらの郷管理者）

松山 一雄（藤井寺市河北地区 区長）

松木 礼子（PTA会長）

\* 敬称略

### 1 開会

- ・挨拶 校長 綿谷 輝昭
- ・配布資料の確認
- ・委員紹介、自己紹介
- ・会長、副会長選出と承認

### 2 報告

#### ① 平成30年度 進路状況について（進路指導部）

進路未定者はおらず、全ての卒業生の進路が確定した。

平成30年度は大学進学者が1名であった。

#### ② 令和元年度 教科書選定について（教務部）

教科書選定の経緯の説明と一部の教科書の展示を行った。

#### ③ 授業アンケートについて（6月）（教頭）

全ての項目において「そう思う」「だいたいそう思う」が大半を占めているが、「あまり思わない」「思わない」の回答も見られる。

### 3 協議

#### ① 令和元年度「学校経営計画」について（校長）

（委 員）中期的目標1【資質向上を基とした学校力の向上】のうち（2）アの「教員4人一組によるグループ編成」による会議システムの進捗状況はどうなっているのか。

（事務局）3カ年計画で会議システムを検討、現在は施行段階である。本年度はモデル実施でシステムについて評価し、次年度以降にさらに充実の方向で進めていく。

1人の授業者に対して3人の教員を助言者と設定、その日の放課後に協議を行い、内容を共有している。モデル実施を行った授業者からは「助言が参考になった」、助言者からは「助言がしやすい」との感想があった。会議も効率的に進めることができている。

(委員) グループの4人はどのように編成しているのか。

(事務局) 本年度は研修の担当者によって学年等が偏らないように編成を決定している。現在は学部内での編成になっているが、最終的には学部や教科に関わらずに編成していきたい。

(委員) 小学校では広く取り入れられている方式であるが、支援学校ではあまり行われていないので今後の進展に期待している。

(委員) 会議システムの対象の授業は特別時間割を組んで実施しているか。

(事務局) 短時間でもいいので授業を参観するということで通常的时间割で行っている。反省会を効率的に行うことが目標の一つであり、そのために参観や助言のポイントを絞って効率化を目指している。

(委員) 中期的目標3【学校・家庭・地域との連携と安全・安心な学校づくりの推進】の(1)「医療的ケア検討委員会に改組」はどのような意図で計画したのか。

(事務局) 現在、校内保健委員と検討している段階である。細かく委員会を分けていくよりは現在のように学校全体の保健に関する事項を把握できるほうがよいという意見もある。

(委員) 中期的目標2【南河内地域における支援教育のセンター的役割の充実、地域連携の深化】の(3)にあるボッチャの活動内容はどのようなものか。

(事務局) 本校ではボッチャクラブを開始し、積極的に活動している。夏のボッチャ選抜甲子園も近畿ブロック第1代表として出場する。

#### 4 協議のまとめ(会長)

次回連絡

閉会